

5. 結果

(1) 回収の状況

1) 一次調査

施設調査票は、有効回収数が 501、回収率は 50.1%であった。また、様式 2 を回答したのは 456 施設であり、記載された患者数は合計で 4,189 人であった（該当患者不在等で施設調査票のみの提出をした施設が 45 施設）。

図表 2 回収の状況（一次調査）

調査票	有効回収数	回収率
施設調査票（様式 1）	501	50.1%
様式 2 に記載された患者数（456 施設分）	4,189	—

* 様式 2 において、ニコチン依存症管理料算定要件外であるデータ、ブリンクマン指数が 200 未満もしくは TDS 点数が 5 点未満のデータ、および算定開始日が平成 18 年 6 月・7 月以外のデータを無効票として除き、有効回収数とした。

2) 二次調査

一次調査で様式 2（患者調査）の調査票を回収した 456 施設に対し、同じ調査対象患者のニコチン依存症治療終了後 5～6 ヶ月後の状況を調査するため、様式 3（二次調査票）を発送した結果、242 施設から回収することができた。様式 3 に記載された患者数は 2,225 であった。

図表 3 回収の状況（二次調査）

調査票	有効回収数	回収率
様式 3 に回答した施設数	242	53.1%
様式 3 に記載された患者数	2,225	—

* 様式 2 において、ニコチン依存症管理料算定要件外であるデータ、ブリンクマン指数が 200 未満もしくは TDS 点数が 5 点未満のデータ、および算定開始日が平成 18 年 6 月・7 月以外のデータを無効票として除き、有効回収数とした。

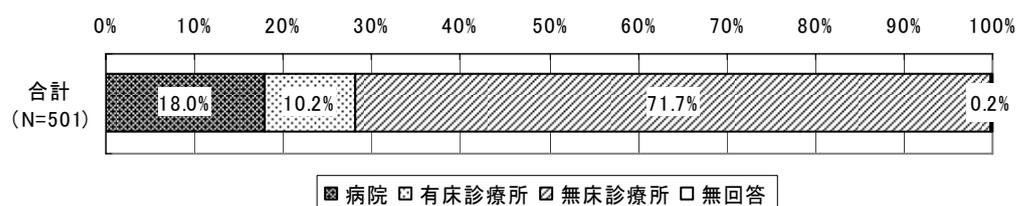
* 回収数は平成 19 年 3 月 19 日時点の数値である。

(2) 一次調査：施設の状況（平成18年11月）

1) 施設区分

施設区分についてみると、「無床診療所」(71.7%)が最も多く、次いで「病院」(18.0%)、「有床診療所」(10.2%)であった。

図表 4 施設区分



病院における病床数についてみると、「100～200床未満」(34.4%)が最も多く、次いで「200～500床未満」(22.2%)、「50～100床未満」(20.0%)であった。

図表 5 病床数（病院）

